（九日夕刊）

磐城新聞

休刊 大祭 第一第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料二行五十錢指定廿錢増
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所 磐城新聞社 電話五六四番

季節の果物
苺、批把、夏蜜柑など

これから段々果物の季節となりまして果物の持つ天然の美しい色彩が新な青葉に映じる今から果物としてはまづ第一に苺です、今店頭に美しい

姿を見せて 居るのは靜岡久能産のものですがやつぱり味の附くのは露地に出來る三保産の出る來月の始めから十日頃までゞす。これはビクトリヤですが來月の十五日頃になると下總の長苺が出ます、これはとつても形です向といつても一番味もよく、たもちもよい本當に苺を味へるのは生麥の節から出るビクトリヤです、五月初めからその月中豊滿な味覺を満足させてくれます苺は

大体眞赤 でキメこまかい程美味です、それから批把になりますが二十日頃になると淡路から俗に長崎批把といはれてゐる洋批把が出ます、その盛りは六月十五日頃で、その頃になれば房巡楠批把の良種も又すこし難い味をもつてゐます、一番おいしいのは純粋の丸い日本種で六月中旬に出る房州合岡産のものです、それは洋批把の比でなく光澤も優れて居ますが今少くて一般の食卓をにぎはすもの出來ないのが憾みです

洋批杷の 上等なものは長味の持つて肥りを帯びた黄色をして居りますからお求めの時に注意すべきです、夏蜜柑は今が一番食べ時ですが、昔は長州産が賞味されて居り、萩みかんとして一人で市場を占めて居りましたが今ではすつかり伊豫産にお株をとられた形ちです、それは萩は中味が白く從つて味が足りませんが伊豫産のものは赤くて見た目にも美しくあふれるやうな

味はひを 持つて居る皮は[illegible]てすべ〜かでこぼこの無いものがよいとされて居ます、伊豫は長州ものより皮が薄いやうですぐ剝ぐ時に注意していたゞきたいのはお尻から剝ぐ事でさうしますときれいに剝げます今ある梨は園ひて岡山産の三吉です、中でもよい物はでこぼこかあり頭が大きく軸が細くキメの表面が赤味を帯びて重いのですそれを撰べば舌にしみるやうな美味な果汁が味はへますメロンも喰べ時は今ですが出盛つて

安くなる のは七月ですこれの好いのはハネジョウなら白くて皮のすべ〜した程好いのです萬人向のスカレットを選べば皮も黄色でアミの多い程好いのですメロンのみの持つ特有の高い異國の香は果物通の讃嘆するところです値段は昨年より二割安で苺は一箱上等で三十四五錢、ビハは今あるもので百匁二十五錢、夏蜜柑は七八錢、梨は大きい

三吉で四 五十錢見當メロンは一個七圓位といふ相場です、終りに果物を食卓に盛る注意ですが家庭の主婦は充分美的情操を働かせて果物の器や盛り台方に氣をつけて氣のきいた一面を人に察しさせるものもその人の教養を思はせるものです。

※明日の吉凶※
三五 舊二月十一 新月 曆 日

▲一白 目前の小利にあくそくせず永遠の計を立つべし▲二黒 前後を顧みざれば逆運に見舞はるゝことあり▲三碧 物に動せず根氣強ければよき一日たるべし▲四緑 塵も積れば末遂に山となる萬事怠るまいぞ▲五黄 正しと思ひし事も先づ識者に問て後行ふべし▲六白 人一倍の勞を積むときは運氣自ら吉となる▲七赤 我を苦しむるは我を愛するものと思ふべし▲八白 根氣強く働けば貧乏神は忽ち逃げ出すべし▲九紫 初めは上運なれど注意せざれば後は凶

講談
闇に閃く男達
(83) 高田涙川作 尾崎雪麿畫

二人の曲者

旗本平岡幹之進といふはやはり石川正春に劍道の指南を受けし師弟の間柄である。正春は金五郎と袂をわかち平岡の屋敷を訪づれた

「どうも先生しばらくでたにかゝりませんがよくおたずね下さいました。お國もとへた歸りの上かねてた話の堀内源太なるものとた立會ひなされし事とた察し申し上げます、どうかその模様をた聞かせ下さい。」

幹之進は正春を客間へ招じ一別以來のあいさつをのべた。さういわれてはいさゝかきまりが悪い實はその堀内小源太は國もとを浪人いたせしゆゑで出會ふことならず再び堀内をさがすべくお國許を出立なせし次第であるどうかまた厄介をかけてすまねえが暫く逗留させて貰いたい」

正春は再び江戸へ來るまでの經過をつぶさに物語つた。

「承知いたしましたお構ひはいたしませんからいつまでなりと御遠慮なく御滞在下さいませ、前年永らく劍道の御教導に預かりましたがまだ初傳免許も得ませんうちに歸國に相成り誠に殘念に心得てをりました今度は御滞在中にせひとも初傳免許をいたゞきたいものでございます。」

幹之助は正春の滞在をむしろ喜ぶ位正春はいよ〜平岡方の食客となり朝は早朝に劍道の稽古をなしそれがすむと今日は上野明日は淺草と毎日々々江戸中を廻り堀内小源太の行方を探すも更に手がかりはなかつた

平岡方へきて七日の日はたつた、一日淺草觀音の縁日に參詣し夜中に立歸りし正春は床についたものゝ萬感こもごも胸にせまり寐り容易に眠られぬ。

「あゝかうして毎日々々探すせ更に分らぬ江戸といへば町の數だけでも八百八町もあるといふ大都會七日や十日でさがしきれさうはずはない、本年中位は尋ねる覺悟でをらねばならぬわいもしそれでも當地にをらぬといふ事なれば今度は上方をたづねばならぬ」

心に語りをる折庭の方にあたりガサツガサツ怪しい物音がした元より身體にも心にも一點の油斷といふのはないふと聞き耳を立てるとこの物音はだん〜縁側の方へ近よつてくる様子ハテ不思議なことである今時分この庭敷へ人のくるべきはずはなし殊に庭へ忍びこむとはあやしの者に相違ないと尚も様子を伺つてをれば丁度雨戸の所までくるとピッタリその物音がとまつた偖はいよ〜曲者に相違なし何やつかとりたゞしくれんとわざとそらいびきをかき熟睡しゐるふりをした。

雨戸のそとで内部の様子を窺つてゐた曲者はいびきの聲にさては寢入ばなと思ひしか雨戸に手をかけ開けんとしたが戸じまりは嚴重にしてあるから容易に雨戸はあかない、曲者は何かとり出し戸のすき間へさしこんだ内部では正春がそういびきをかきながら首を上げて見れば掛金の所へ短刀をつきこみギリ〜引廻し掛金をはづさんとしてゐる

「ハ、ア夜盗ゝたぐひと相見えるしかしこんな三百石位の貧乏旗本の家へはついた所でとるものもあるまいハ、アこいつは素人の泥棒か知ら……なぜ下町あたりの物持ちの家へはいらないでもあらうもし主人か目をさましたればその主人が腕ができるので己れ泥棒ッ……をバッサリやられたらどうするつもりだらう、どうも泥棒も素人には困つたものだ」

正春は氣樂にこんなことを思ひ浮べてゐた曲者はやうやく掛金をはづしソッと一寸二寸と雨戸を開けて行く。

「ハ、アなか〜器用なことをする、忍び入るにはあゝいふ風にするものかな」

面白さうに見てゐる中にズッと雨戸をあけはいつてきたは二人の曲者であつた

ゼール
ネル
帯側
平 龜田屋 電五七

廣告

心配ゴ無用!
ドンチに恐性頑固な慢性淋病も本剤の強烈な殺菌力で尿道、奥深く侵入せる淋菌を見事に滅殺しウミも痛みもケロリと治療す今すぐ御服用を……
淋病最新藥
トリックス
證定用 一圓・二圓 實定用 三圓・五圓・十圓
(說明書三錢郵券封入贈呈す)
平町五丁目角 特約店 山野邊薬局

血煙りの稱ある高田の馬場は日本活映譜より外には有ません
血煙高田の馬場
監督 巨匠 伊藤大輔 名人大河内傳次郎 努力熱演

斯界問題の大名畫 驚嘆す革命的大作
日活軍事派超特作品
原作脚色…富士秋郊 監督…三枝源次郎
戰爭と女性
淺岡信夫、浦邊粂子 南部章三、松本靜枝
鶏鳴に明け晩鐘に暮る平和な村に突如起る某國との戰爭、青年議治と鈴蘭が戀の哀史

悲願千人斬
雑誌キング所載 原作…下村悦子 脚色…竹柴鶴松 監督…吉野二郎
藤野秀夫、堀田金星 小川國松、市川松之助 川田芳子、吾妻三郎
劍光閃々…暗雲漲る戰國の世風雲捲起り悲壯惨風の大劍史

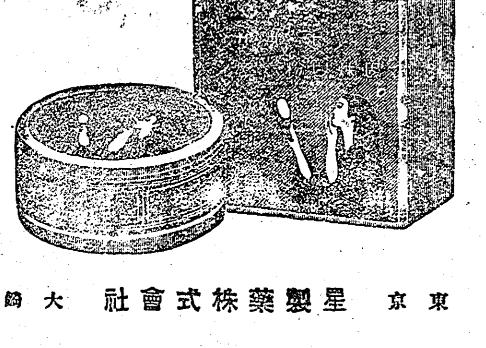
五月十一日ヨリ(金曜日) 土曜日曜學生デー
日活松竹 高級常設 平館 (電四六六)

内科、小兒科 花柳病科 入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町 電話平局五〇七番

入院隨時(自炊の便あり)
耳鼻咽喉科專門
大和田醫院 平町南町(電一七〇番)

營業品目 絹糸、絹紡績 綿糸、染糸、組紐 漁網糸、人造絹糸 カタン糸、輸出用加工糸 眞綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社 藤掛商店
電話浪花三三五一番 振替東京三三四〇番
糸界の羅針盤糸紐通報御一報次第直送
小店員募集 十五才以上十七八才迄 五名
小學校卒業程度御希望の方磐城新聞社御出で下さい。委細面談

生花教授
池ノ坊流 生花を懇切叮寧に御教授いたします、た遊びがてら御出で下さい
平町五丁目(釜屋横町) 須藤まつの

化粧くづれのない
固煉白粉
一 汗で化粧くづれにお困りの方は、是非ホシ美固練白粉をおつけ遊ばせ。
二 ホシ美固練白粉は、化粧くづれのない上にノリ、ノビがよく、化粧榮のする特徴を有つ[illegible]ます。
三 このホシ美固練白粉こそ、皆様の御満足を購ふことの出來る品でございます。
ホシ美固煉白粉

東京 星製藥株式會社 大阪

産科婦人科主任トシテ醫學士野秋善直新任ス
赤心堂病院
平町字田町(電話四七五)
外科、耳鼻科、泌尿科 院長 新妻由五郎
産、婦人科 主任 野秋善直
内科 主任 小林四郎
X光線科 藥局 主任 木市寅下

行樂の春!
御散策の御歸りに おみやげはゼヒ オモチヤのいづみやへ
お子様方の一番喜ぶ目新しいオモチヤやトテモ可愛いゝた人形がいつも豊富に陳列して御座います
川口式ハーモニカ、大正琴、特價提供!
平驛前 いづみや玩具店

内科 小兒科 皮膚科 花柳科
平町舊城跡(城山)
青沼醫院
醫學士 青沼淡夫 電話四〇三番

重内炭礦坑夫三百名 突如同盟罷業を企つ
勞銀値上其の他十ケ條の要求事項を突付けて
裏面に反所長派の尻押し

茨城縣多賀郡磯原町重内炭礦に支部を設けてゐる日本坑夫組合は曩に炭況不振の故を以つて經費節減の意味で一般從業員の勞銀平均二割値下を斷行した磐城炭礦會社に對し

生活上到底忍ぶ能はずとの理由に依り同礦坑夫八百名中三百名の賛成調印を得去る三日從業員代表者片寄留七、福田甚作、下山田作太郎、内田米次郎の四名は礦業所長酒井喜太郎氏に對し次の如き

要求嘆願書を提出した

第一條　賃金値上の件
第二條　購買組合設立の件
第三條　飯場制度撤廢の件
第四條　會社の責任に期すべき事業上の支障に對し結料支給の件
第五條　第四坑に疊敷込の件
第六條　通風設備の件
第七條　檢炭立會の件
第八條　院長不信任の件
第十條　重内倶樂部を坑夫側に解放の件　以上

此の要求書提出に依つて同礦

首腦部は極度の狼狽を示し二、三の條項は此れを認むべきも賃金値上其の他に對しては今俄かの回答を與へ難く十日中に採否明答する旨七日坑夫側に回答する處あつたが坑夫組合は此の回答は會社に何等の誠意なきものと認め八日全山に對し

同盟罷業を宣すると共に東京本部に打電直ちに挑戰的態度に出でるに至つたが重内に爭議勃發の報至るや日本坑夫組合磐城聯合支部は全力を擧げて此れを應援する事に決定更らに當地方々の某々炭礦にまで

爭議の延長を計劃中である尚坑夫組合側は前記要求事項全部の貫徹を期して最後まで奮闘すると頗る強硬な態度を持してゐるが該爭議勃發の裡面には酒井所長排斥即ち反所長派の係員が組合側の尻押をしてゐるものの如くで松原署は萬一を憂慮して嚴戒に努めてゐる

本郡の徴兵檢査 合格五百廿一名
花柳病は減んじ 一般に成績良好

本郡の本年度壯丁檢査は七日まで植田、平の兩町で執行されたが受檢者總數千九百廿二名でうち事故不參者二名檢査の結果、甲種合格五百廿一名、第一乙種二百五十九名、第二乙種三百六十名、丙種二百五十八名、丁種百十名である檢査の結果に就て徴兵官川波中佐は語る

學力程度は逐年向上する傾向があるが本年壯丁中には義務教育を受けなかつた者が八十名もあり無學とまではゆかないが殆んど文字を解さない有樣で高等卒業者に比較すれば常識その他の點で甚だしい懸隔がある、これを見ても教育の必要を痛感させられた、體格方面では今年は特にトラホームが非常に多かつた花柳病は前年より減少してゐることは喜ばしい殊に滑通りは例年縣内で一番花柳病が多かつた處が減少したことは各自の自覺からであらう、身長は前年より平均して低下してゐる、また

徴兵忌避はなかつたがそれに類似した不參二名を出したことは遺憾である然し告發する程のものではない、これによつて見るも國民が徴兵に對する義務觀念が向上したことが判る」云々

磐女旅行通信
(三)第三學年旅行隊

六日　樂しい〳〵旅行第二日目の朝は清よく明けかゝつた。柔かな朝風を受けつゝ窓邊に寄り添つて眺めると、ほんとに惠まれた日だつた。中禪寺の隱やかな〳〵鏡の樣な湖面、「なんと惠まれるのでせう」等と語り合ふ聲もそちこちに聞える。赤塗の膳で食事もすますと中禪寺に向つた。湖水をめぐる山々には早や霧も消えやうとする頃なのに雪が面白く形どつて居つた。中禪寺の中に入り壯嚴な佛殿の前に立つた時遠い〳〵史跡を思ひ起し、いひしれぬ感に打たれた。

それから寶物を拜觀して海岸に降りて行つたそこにはモーターボートが一同を笑顔で待つてゐた。青海原のやうな廣い〳〵水の面を滑るやうに走つた時四方の自然の美を眺めて清められた心が一層澄んだやうな氣分になつた。前へ進む舟ゝ沫が涼しい顏にサーツとかゝつてきた。

青海原と山私達は戰場が原へと堪へきれぬ樂しい中に一つの望を接つて走つて居た、皆んなのうごかす手頻りにスケッチブツクに美くしい景色を寫して居つたやつと菖蒲が浦に着くと急ぐ有名な日光養魚場を縱覽する事になつた。

白樺の並木の細道を通つて行くと大きな池が横たわつて居つた。鱒が澤山飼養されて池の中を泳ぎ廻つて居つた。此れが大きくなれば中禪寺湖に放つのださうの事だつた。幾つも〳〵續く池、其の中には大きくなる餌を待つ鱒が勢よく泳いで居た。珍らしい此の所を過ぎると又も私達を喜ばす大自然が包み切れぬ美を打揃へて居た。

洋腸の小徑を縫ふやうに行くと岩を嚙む地獄川の流れの吾を耳に聞ながら赤土の小徑を辿つた、春の微風に葉ずれの音淋しい熊笹の原、幹光る白樺の林の稍越しほの白い冬の名殘りの雪を留めた白根山をバツクとして私達は記念撮影をした。再び寺土山を辿つた。やがて瞳に映つた荒涼たる戰場か原、青磯迄に煙る男体山の雄々しい裾野を彩る木々の仄赤さ。纖細な木々のすつきりした林をすかして青い空が快かつた。朽葉を踏むで行けば枯尾花の淋しい囁き……すうつと胸を掠めた暗と旅愁にも似た思ひがあつた朽葉に憩うてその上湖とあつたと云ふ此所、今は熔岩で堰き止められて湖れも涸き昔神樣が戰つたと云ふ傳説に戰場が原と名づけられて居るとか……

自然の美はしさに時を過しやがて淋しい別れを告げた、上る時に比らべて下る時は左樣困難でもなかつた。緑色に眞澄める中禪寺湖畔を白帆にあくがれ、對岸の山に憧れて歩いた、九十九折の坂を下る中足もいつか重くなつて電車に乘つた時言葉もなくうなだれて居た眞白に、緑に流る大谷川に懸る赤い神橋の前で電車を乘り捨て日光町の上州屋旅館の愛嬌たつぷりな番頭さん女中さんに迎へられた時言ひ知れない氣安い吐息が唇を洩れた。その宵八時より私達一同には盛んな茶話會が催ほされ面白可笑しく睦み合ひ樂しい夢路に入つた。

辯護士大會に 千葉氏出席
五日花卷で

盛岡辯護士會主催東北六縣辯護士大會は去る五日午後一時から岩手縣花卷溫泉に於いて盛大に擧行したが本縣からは千葉彥治(平)湊芳藏、北川次男(福島)外七辯護士列席した

厄病神に祟られた 平町の損害十萬圓
惡疫の終熄で ポツ〳〵景氣も回復

天然痘から腸チブスと引續き厄病神に見舞はれた平町は折角花見の季節になつても少しも氣勢があがらず

各商店の品物の賣行きは減退した火の消えた樣になつたのと反對に傳染病舍の新築したり豫防費を計上したり町費はふへる一方でそれに一番打撃だつたのは年中行事の一つでしかも旅館、商店、花柳界の書き入れになつてゐる壯丁檢査が植田町で行はれた事でこの損害が約十萬位に達するだらうといはれてゐる、以上の如く全く氣力を失つてしまつた平町もその後は患者も發生せず漸く終息した狀態になつたので幾分

活氣を見せては來たが濱が豊漁になり炭礦の景氣でも餘程よくならねば俄に不景氣の底から挽回することは困難と見られてゐる

胡鼠泥
植田署に捕る

石城郡田人村大字入田人當時住所不定無職綠川常太郎(四五)は七日夜十一時ごろ同郡勿來町から十數羽の鷄を窃取植田署に檢擧されたが同人は去月中勿來町關田旅人宿金成卯之松方で金十六圓の無錢飲食を爲した事も自白した

販賣組合で 市場の新設
八日役員會で

石城販賣利用組合では昨年度開設した四倉繭市場の同地方產繭取引に及ぼしたる好結果に鑑み本年度も春繭の出廻り期を眼前に扣へて生產消費の聯絡關係繭質の向上繭價決定の妥當等につき一層の考究をなし八日午前十時から平町元郡會議事室で同組合役員會を開催左の協議事項につき付議したが本年度から開設される平繭市場も二百四十餘名の新加入者を見市場並びに生繭干そう器の設置だけは可能とされてゐるが拂込等の關係上干繭操作及び干そう保管の關係たる干繭倉庫の設置までにはなは三、四萬圓の經費を要する狀態で同組合でも相當困難を感じてゐる模樣である

△平繭市場設置の方法及び運轉資金借入れの件△四倉繭市場干操器の增備△植田ナコソ兩方部繭市場經營及び市場得意先に關する件△繭質優良選別良好なる養蠶家の獎勵方法△その他經營上の打合せ諸項

今度こそは當てて下さい
誰れにも出來る標語綴り
◆—當選者二名に懸賞

本社は最初の試みたる『紙上誤字探し』の懸賞が正解者一人もなかつたのは課題が可成り難解であつた事に因るものとの見解から今度は何人にも容易に出來る左の懸賞募集を再度敢行致します。今度こそ必ず當てて下さい

◇方法　五月十日發行夕刊(五月十一日附)本紙第二面全紙中に伏字(伏字とは■にして活字の裏を表したもの)が十個ありますから其處に入るべき文字を拾ひ集め『磐』の字を首に『方』の字を尾にして文を綴ると一つの標語が出來ます之れをハガキに書き本社懸賞係り宛て御出し下さい

◇締切　五月十三日締切り十四日夕刊に發表(正解者多數の場合は抽籤の結果當選者二名を決す)

◇懸賞　當選者二名に割增金一千五百圓復興債券五圓券一枚宛を贈呈す。(外に平町五丁目山野邊藥局寄贈の副賞)

磐城新聞社

此の邊が底落ちで 景氣も漸次復活
殘るは炭礦の回復たけ
石城地方の昨今

石城郡地方は昨年金融界有史以來の混亂を惹起して世はモラトリアム旋風に捲き込まれ流石に大盤石の如き

經濟界の基礎を確立してゐた石城郡地方でさへ實際の問題狀勢は別として誰れ彼れの差別なく同地方の財界に暗影的視線をなげて流言と共に恐怖に襲はれてゐたものであつたが間もなく順調に復しその間銀行預金が郵便貯金に振向けられる傾向もあつたがこれも時を經ると共に常態に復しその後順境を辿つて今日におよんだ然しその忘るべからざるモラトリアムの一週年を迎へた昨今石城郡地方の金融界は如何なる程度で活躍してゐるが各銀行及郵便局等について預金及拂戻し高を調て見ると何れも相當纏まつたものが意外に圓滑な狀態で轉々し商人の取引及農村の

肥料購入資金等は頗る順潮に流動してゐるものの如くであると觀測されてゐるが同地方一帶と利潤すべき炭礦界がまだ眞の復活

阿部奥津組優勝
軟球記念大會

日本軟球聯盟創立記念大會は六日午前十一時から豊島園コートに於て擧行磐中出身の阿部奥津組が優勝した結果左の如し

◇準決勝
阿部・奥津(鐵道) 4—1 森・尾崎(扶桑)
宮崎・五反田(庚申) 4—2 林・田中(金門)

◇決勝
阿部・奥津(鐵道) 5—3 宮崎・五反田(庚申)

本社懸賞の 當選者
平舘の盛況

本社七週年記念第二懸賞の平舘映畫大會第三日目は前日に引きつゞき非常の大入りで文字通り立錐の餘地なき盛況を示したが當選者は左の如くである

△一等(一三〇八番)平町紺屋町三八　中野勇
△二等(一二六五番)平町十五丁目　織田セイ子
△三等(一六四六番)平町柳町四　小野金太郎

平の日用品
大体は保合の姿

平町四月中の物價は麥が二錢方昂騰した外他に低落なく左の通りであつた

△白米一等三十五錢、二等三十四錢、三等三十三錢△白麥二十三錢△平麥二十錢△醬油六十錢△清酒一圓(以上一升建)△味噌八十錢△椿丸三十四錢同割二十六錢雜丸二十九錢(以上一貫目建)△砂糖白十六錢、赤十四錢、黑十錢△豚上五十錢、並三十錢△牛上六十錢、並四十錢(以上百目建)

かみくづ

玉川の茶目が或事情あつて今度北の端づれの樺太へ行くと云ふ噂がパツと擴がつた、ナンセ鐵槌を持つて小便に行つて出たゞけ凍つたのをタ、キ落して、アトをたれるといふ寒さだといふから、火事が凍つて大きなサンゴ樹が出來るのも不思議はアンめへ◆樺太で冬の寒氣を越年すれば一冬毎に身體がちゞこまつて小さくなるといふから、あのチビの茶目では四五年經てば小包郵便で送り返されるだらうなんて本當かしら◆琴治に向つてお前は明るい部屋より薄暗がりの方が好い女に見へるね、とロの惡いのが言つたら、アタイ色が黑いので銀行の支店長さんに褒められたのよ、色の白いのは七難かくすといふがお前は黑くても美人なんだから、本當の美人だつてと平氣で言つてたが。其通り相違無之候だ、銀行の保證なら間違ひはありツこない、尤も擔保にとる氣づかいはあるまいがね。

社告

營業部員　一名

廿歲以上卅五歲以下の活動家を至急募集す本人履歷書持參午前中來談あれ

磐城新聞社

國產品普及宣傳
抽籤附大特賣
精工舍製腕時計セイコー
大懸賞額
賞品
一等　金壹百圓(復興債券)五十本
二等　金五十圓(同)百本
三等　金拾圓(同)二百本
四等　金五圓(同)五百本
五等　精工舍製ニツケル丸形机上時計(市價一圓[illegible]錢)四萬九千百五十個
賞金總額金拾萬貳千九百七拾圓也(一本も空籤なし)
特約店　會田時計店
平町四丁目(電話三六三番)

診療開始
外科 花柳病科 專門
木村外科醫院
平町六丁目橋際(元〇久材木店跡)
入院自炊ノ便アリ

ユラノスケ瓶詰 花見時の特價
空瓶交換のレツテルをはらずに
四合瓶詰　一本　四十三錢
二合瓶詰　一本　二十二錢
大口の御注文はなるたけ前日迄に御申付下され度
永山酒造店小賣部
瓶詰出張販賣所
電話二〇七番

日東のラジオ
最新高級の ラジオ製造販賣
並に部分品提供
當分の間 三球セツト取付共 奉仕的破格値段
A　百貳拾五圓
B　百五圓
C　七拾圓
御用命次第店員をお伺ひ致させ懇切御相談に應じます。
平町白銀町
日東商會
電話四二八番

季節向御料理大勉强
公園の節
廉賣 親切 叮嚀 第一
松ケ岡公園地ノ端
割烹 ときわ
電話二二六番